

同様の社会実験と比べ、3.1 倍の月間利用回数！

都 市 計 画 部

まちづくり政策課

「電動キックボードを活用した社会実験」の実施結果

9月17日（土）から10月16日（日）の期間、沼津駅-沼津港間にて
実施した電動キックボードを活用した社会実験「GO SLOW TOWN TO PORT」
の実施結果を取りまとめました。

直通 055-934-4760

■社会実験の実施結果

【実施期間】令和4年9月17日（土）～10月16日（日） 30日間

【利用者数】226名、【利用回数】587回、【平均走行距離】約2.18km

【利用者の年代】10代1%、20代28%、30代26%、40代28%、50代15%、60代以上2%

【利用者の居住地】市内47%、県内27%、県外26%

【他地域との比較】

	沼津市（市街地×観光地）	K市（市街地）	O町（観光地）
設置台数	15台	20台	10台
実施期間	1ヵ月	8ヵ月	4ヵ月
設置場所	7箇所	9箇所	4箇所
月間利用回数	587回	188回※	167回※
月間売上高	155,490円	36,570円※	36,165円※

3.1 倍

4.2 倍

※実施期間中、最も利用の多い月の利用回数・売上高

【ポート7箇所の利用回数ランキング】

貸出（出発地）

1	沼津港入口 （港八十三番地第二駐車場）	94回
2	沼津駅南口（ラクーン前）	82回
3	中心市街地（静岡銀行沼津支店）	65回

返却（目的地）

1	沼津港入口 （港八十三番地第二駐車場）	93回
2	中心市街地（静岡銀行沼津支店）	78回
3	沼津駅南口（ラクーン前）	71回

・沼津港入口（港八十三番地第二駐車場）のポートが、貸出・返却ともに、利用回数が1位

【利用者アンケート】 電動キックボードを利用した感想について（複数回答）

移動が楽しい 92（66.7%）

開放感がある 71（51.4%）

新しい乗り物 69（50%）

遅い 63（45.7%）

また乗りたい 62（44.9%）

危ない 48（34.8%）

・約 66%の方が移動が楽しいと回答し、市民などがゆっくりとした移動を楽しむ機会となりました。

・一方で危ないと回答した方が、約 35%おり、安全性の面で不安を感じる方が、一定数いることがわかりました。

■課題と今後の取り組み

同様の社会実験を実施した他地域に比べ、収益性は高かったものの、事業継続に向けては慎重な判断が必要であり、また、安全に対する不安解消も不可欠です。今後の改正道路交通法の施行を見据え、引き続き、事業者と検討していきます。

電動キックボードを活用した社会実験 | Go Slow Town to Port |

Go Slow Town to Portとは

本市では、コンパクト・プラス・ネットワーク型のまちづくりを推進しており、拠点間を利便性の高い公共交通で連結し、沿線居住者の利用を増加させることで、持続可能な公共交通の構築を目指しています。

また、交通結節点や拠点施設などから、公共性を有するシェアサイクルやマイクロモビリティなど、目的に応じて多様な移動手段を選択できる環境を整備し、誰もが市内を快適に移動できる公共交通ネットワークの構築に取り組み、過度に自動車に依存しないまちづくりを推進しています。

その一環として、目的に応じて多様な移動手段を選択できる取組を「Go Slow Town to Port」と題し、沼津駅南口から沼津港入口間で、時速15km/hでゆったりと街を回遊することができる電動キックボードのシェアサービスを提供する社会実験を実施いたしました。



【期間】

令和4年9月17日（土）～
10月16日（日）の30日間

【エリア】

沼津駅南口～沼津港入口

【内容】

- 対象エリアに7箇所のポートを設置し、電動キックボードのシェアサービスを提供
- 電動キックボードは、エリア内に設置する複数のポートでの貸出返却を可能とし利用できるサービス
- 国の特例措置のもと、ヘルメット着用任意での利用が可能



電動キックボードを活用した社会実験 | Go Slow Town to Port |

社会実験の実施結果

利用者数	226名	平均走行距離	2.18km	1台あたり回転数	1.3回/日
利用回数※	587回	総利用時間	117.5時間	1台あたりの月間稼働率	39.1回
総走行距離	1,281.4km	平均利用時間	約12分/回		

※利用回数は、利用者が返却もしくは一時ロックした回数＝トリップ数をカウント（他地域と同じカウント方式）

同様の社会実験を実施した他地域との比較

利用回数は3.1倍、売上金額は4.2倍

市街地と観光地が近接し平坦な沼津駅-沼津港間と、電動キックボードの親和性の高さ

比較表	沼津市（市街地×観光地）		K市（市街地）	O町（観光地）
設置台数	15台		20台	10台
実施期間	1か月		8か月	4か月
設置場所	7箇所	3.1倍	9箇所	4箇所
月間利用回数	587回	←	188回※	167回※
月間売上高	155,490円	←	36,570円※	36,165円※

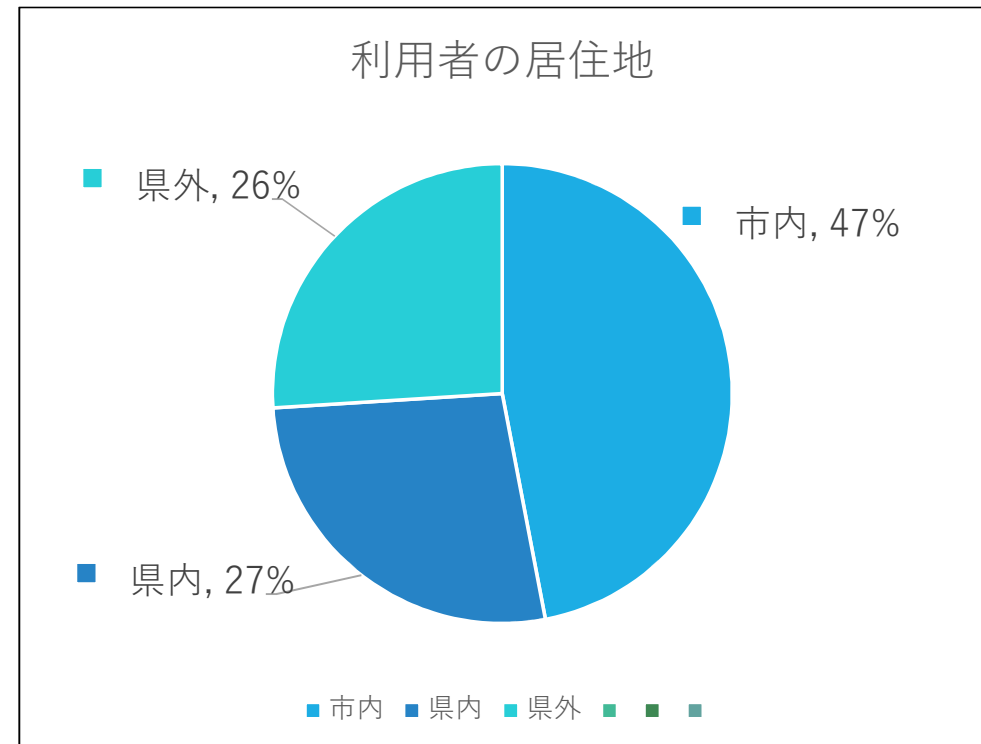
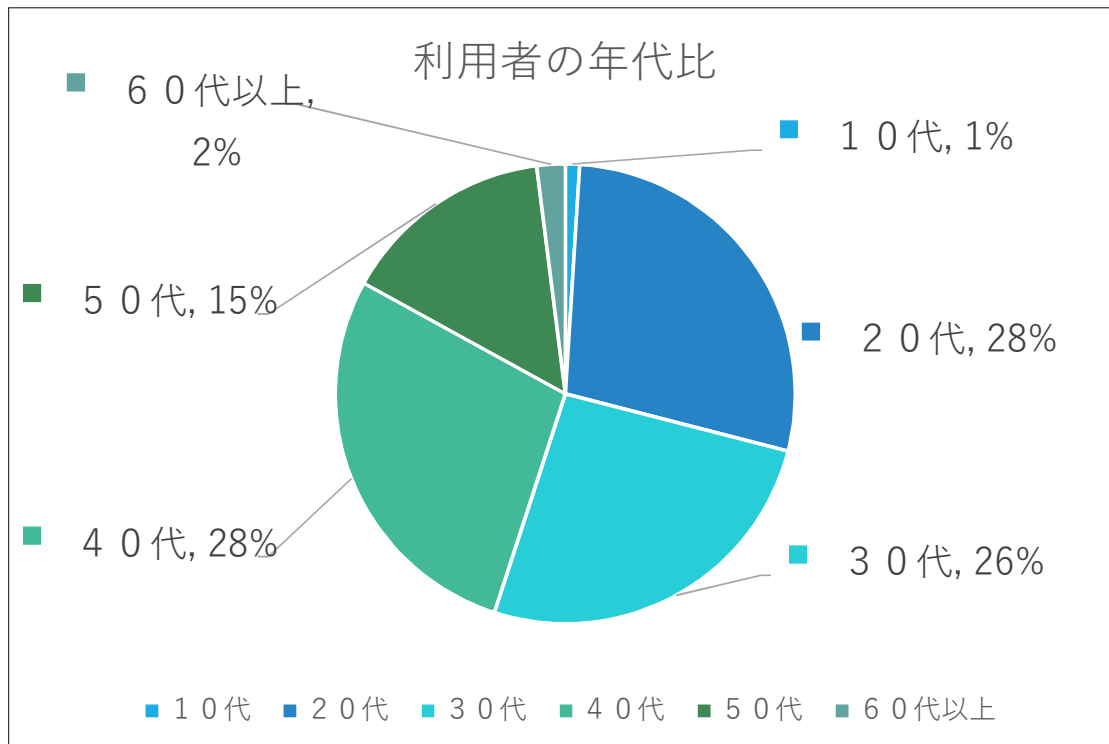
4.2倍

※実施期間中、最も利用の多い月の利用回数・売上高
 K市 2021.5～12の実施期間中、最も利用があったのは11月
 O町 2021.7～10の実施期間中、最も利用があったのは10月

電動キックボードを活用した社会実験 | Go Slow Town to Port |

利用者の年代比、利用者の居住地

利用年代は、20代～40代が中心。利用者の約半数は市内で、市外県内・県外の方が約3割。



電動キックボードを活用した社会実験 | Go Slow Town to Port |

ポート7箇所の利用回数ランキング

貸出（出発地）、返却（目的地）ともに、沼津港入口（港八十三番地第二駐車場）が1位

返却（目的地）の2位には、中心市街地（静岡銀行沼津支店）がランクイン

貸出（出発地）

1	沼津港入口（港八十三番地第二駐車場）	94回
2	沼津駅南口（ラクーン前）	82回
3	中心市街地（静岡銀行沼津支店）	65回
4	中心市街地（沼津市役所）	60回
5	沼津駅南口（三交イン前）	54回
6	沼津港入口（スルガ銀行沼津港支店）	38回
7	中心市街地（三菱UFJ銀行沼津支店）	20回

ポート以外で一時駐車からの出発回数

85回

合計 498回※

返却（目的地）

1	沼津港入口（港八十三番地第二駐車場）	93回
2	中心市街地（静岡銀行沼津支店）	78回
3	沼津駅南口（ラクーン前）	71回
4	中心市街地（沼津市役所）	64回
5	沼津駅南口（三交イン前）	59回
6	沼津港入口（スルガ銀行沼津港支店）	39回
7	中心市街地（三菱UFJ銀行沼津支店）	13回

ポート以外での一時駐車回数

81回

合計 498回※

※ 全体利用回数587回から長時間利用プランの重複利用分89回を除く

ポート7箇所の発着利用率

各ポートとも、同じポートでの発着率が高い傾向に

エリア別では、沼津駅・中心市街地における発着回数が最も多い結果に

貸出と返却が別のポートでは、沼津駅→沼津港、沼津港→沼津駅、沼津港→中心市街地の利用が多い※

※貸出と返却が別のポートの利用回数が10回以上

		返却（目的地）								
貸出（出発地）		沼津駅南口 （ラクーン 前）	沼津駅南口 （三交イン）	静岡銀行 沼津支店	三菱UFJ銀行沼 津支店	沼津市役所	沼津港入口（港 八十三番地第二 駐車場）	スルガ銀行 沼津港支店	ポート以外での 一時駐車回数	合計
	沼津駅南口（ラクーン 前）	33	3	5	1	3	20	7	10	82
	沼津駅南口（三交イン）	1	22	1	2	0	15	2	11	54
	静岡銀行沼津支店	1	1	3	3	4	8	4	5	65
	三菱UFJ銀行沼津支店	3	1	5	5	1	1	1	3	20
	沼津市役所	2	5	4	1	31	5	4	8	60
	沼津港入口（港八十三番 地第二駐車場）	15	13	11	0	6	38	3	8	94
	スルガ銀行 沼津港支店	6	3	8	0	2	3	13	3	38
	ポート以外での一時駐車 からの出発	10	11	5	1	17	3	5	33	85
	合計	71	59	78	13	64	93	39	81	498

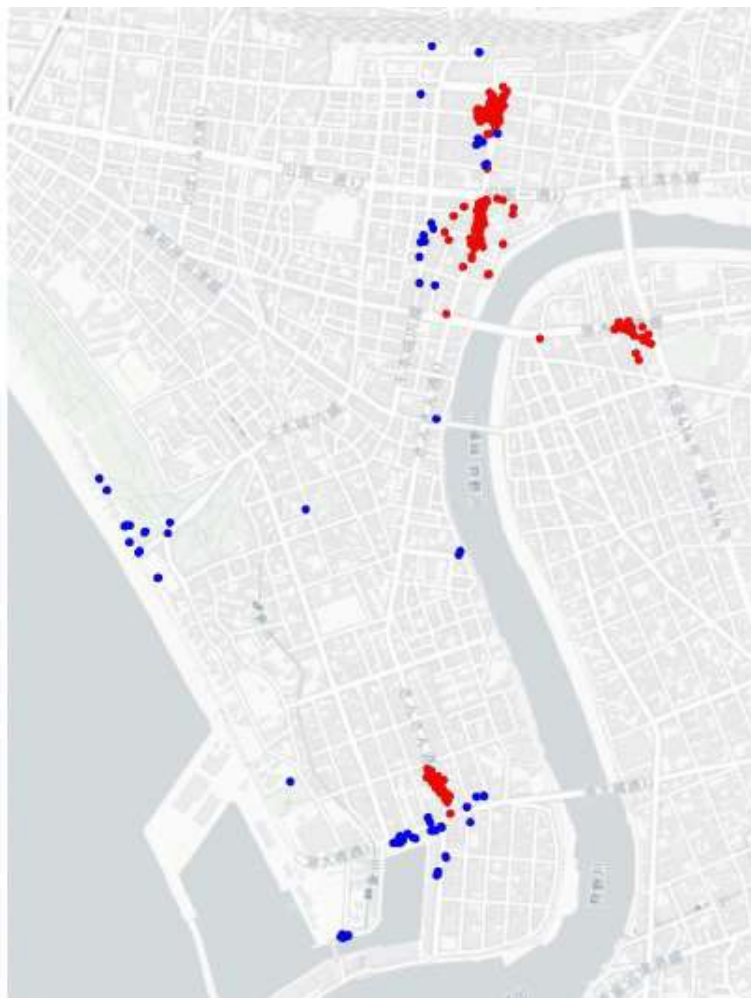
P
4
ポ
ー
ト
の
利
用
回
数
ラ
ン
キ
ン
グ

P4 ポートの利用回数ランキング

P4 ポートの利用回数ランキング

電動キックボードを活用した社会実験 | Go Slow Town to Port |

GPSデータを基にした利用データのマッピング結果（返却（目的地）または一時駐車（目的地・立ち寄り）の地点）



赤い点※：ポートへの返却

**青い点※：ポートより一定の距離のあるところで、
一時駐車した箇所**

**沼津駅、沼津港を目的とした利用が多い一方で、周辺の地域
資源（千本浜公園周辺、新仲見世商店街、びゅうお等）に
立ち寄る利用も多く見受けられる。**

※沼津駅南口（ラクーン前・三交イン）、沼津港入口（港八十三番地第二駐車場、スルガ銀行沼津港支店）のポートについては、ポートから30m未満での返却やロックを赤でマッピングし、30m以上での返却やロックを青でマッピングし集計

※中心市街地（静岡銀行沼津支店・三菱UFJ銀行沼津支店）、沼津市役所、のポートについては、ポートから50-100m未満での返却やロックを赤でマッピングし、50-100m以上の返却やロックを青でマッピングし集計

電動キックボードを活用した社会実験 | Go Slow Town to Port |

利用者アンケートの結果

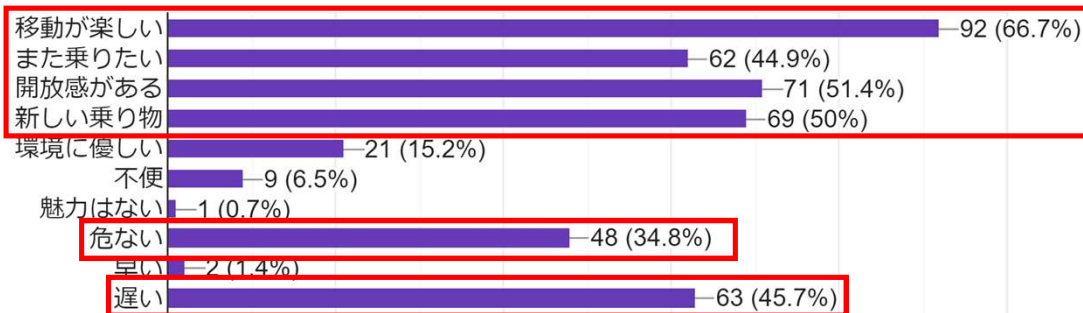
利用者アンケート 電動キックボード社会実験の利用者に対してアンケートを実施し、利用者数226名に対して、140件の回答（回答率61.9%）があった。

約66%の利用者が移動が楽しいと回答し、クルマ以外でのゆっくりとした移動手段を楽しむ機会となった

約34%の利用者が危ないと回答し、利便性の高い移動手段であるものの、走行環境や利用環境など、安全面への課題を認識する結果となった

電動キックボードを利用した感想を教えてください。

複数回答



・約6割以上の方が移動が楽しいと回答し、開放感があると回答した方が半数以上いたことから、電動キックボードが移動そのものを魅力的にする可能性を伺える結果となった。

・一方で、危ないと回答した方が約3割以上おり、安全性の面で不安を感じる方が、一定数いることがわかった結果となった。

・半数近くの方が、スピードが遅いと回答した

【その他】

- ・**車両等**（ミラーはあるが後ろが見えない、パワー不足、路面からの振動、ナンバープレート留め具ガタガタ、他の社会実験と比較して車体チープ、あと5キロ速く、もう少し速度が出ると良い）
- ・**走行環境**（路面からの振動、道路の整備、道路面の状況に運転が影響されやすい、大手町等は停車中の車が多い）
- ・**安全面**（車の幅寄せ行為等の危険、便利だが危険性が高い、公道を走るのに危ない、重心が高く不安定、大手町等は停車中の車多い）
- ・**利用環境**（アプリ登録、カード登録が分かりにくい、ポートが少なく車体の数も足りていない）